昭和57年　第795号
5月23日

市報 にいがた

市の人口
前月比
人口 456,168（+2,634）
男 223,480（+1,392）
女 232,688（+1,242）
世帯数 146,236（+1,954）
57年4月末日現在

発行日 毎週日曜日
発行所 新潟市役所
新潟市西堀通6番町866
電話 代表(28)1000
編集人 二宮省三
（担当企画部広報課）
印刷所 ㈱第一印刷所

在宅心身障害者・ねたきり老人へ

図書を郵送します

市では、図書館に行くことが困難な在宅の心身障害者およびねたきり老人の方のために「図書の郵送貸し出し」を始めます。申し込み受け付けは明日（二十四日）から。大いにご利用下さい。

全市民のための図書館を目指す

図書の郵送貸し出しは、「すべての市民のための図書館」を目指し、図書館利用に障害のある人たちへのサービスの一つとして来館できない人を対象に行うもので、市が今年度も継続して力を入れている国際障害者年二年目の障害福祉等施策の一環です。

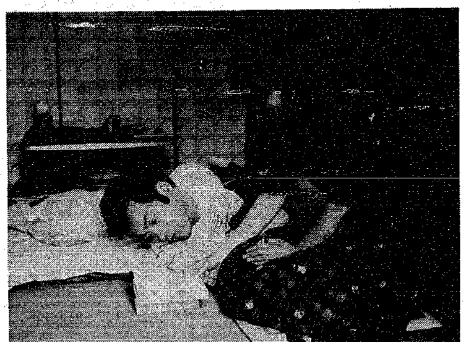
これは「身体障害者用書籍小包郵便物」の認定を受ければ郵送料が半額となる割引制度を利用するもので、郵送に伴う経費は市が負担します。

この種の貸し出しは、東村山市をはじめ、松戸市、川崎市、尼ケ崎市―など、関東、関西の市で国際障害者年を機に実施が増え始めているものの、県内では初めての試み。

本人がぜひ本を読みたいというほか、家族の方がぜひ読ませてあげたいという場合にもこの制度が活用できます。

家庭奉仕員で、身障者の方に本の読み聞かせをしている曽川恵美さん（本町二）は「そんな制度ができるんですか。借りていろんな本を読んであげ、もっと幅広い本の楽しみを知ってもらいます」と期待を語ってくれました。

なお、この貸出事務には、舟江図書館が集約的な窓口となってあたります。



図書郵送で、心身障害者等にも本を読む楽しみが増えそう！
（家庭奉仕員の本の読み聞かせから）

―利用案内―

利用できる人　在宅の心身に障害のある人およびねたきり老人で、図書館に行くのが困難な新潟市民

登録手続き　舟江図書館にある「図書郵送貸出申込書」に記入の上、お送り下さい（請求があれば郵送で申込書を送付します）。※なお、受理後「身体障害者用書籍小包郵便物」の取り扱い認定をうける等の手続きに一カ月ほどかかります。

貸し出し方法　①登録後、本を借りる手がかりとして舟江図書館増加目録、新着図書案内等をお送りします②借りたい本の申し込みは電話、はがき、手紙等でして下さい③申し込みのあった本は舟江図書館だけでなく、市の全図書館に照会して提供します④本は郵送用布袋（郵袋）に入れて送ります

貸出冊数・期間　三冊までで一カ月間

本の返却　郵袋に付いているあて先をひっくり返して舟江図書館行とし、お近くの郵便局へお出し下さい（小包ですのでポストに入れられません）

申し込み　明日から。舟江図書館（〒951、稲荷町三四九〇―三、☎23―三三三五）へ

※なお、舟江以外の他の市立図書館でも、「郵送貸出申込書」や利用案内書を置くほか、相談や問い合わせに応じます。

「あっ！キジがいた」

探鳥会開かれる

「野鳥のさえずりを楽しもう」―と、さる五月九日の早朝、西海岸公園で「探鳥会」が開かれました。

参加者は、幼児からお年寄りまで約二百五十人。「にいがた野鳥の会」の皆さんの案内で、西海岸公園のクロマツ林を歩き回りました。林の中は、野鳥の鳴き声だけが聞こえる静けさ。参加者たちは、美しいさえずりにじっと耳を傾けたり、双眼鏡をのぞいたりしていました。

この日観察された野鳥は、キジ、クロツグミ、ウグイス、シジュウカラ、モズなど二十七種類。親子四人で参加した天坊さん一家（水道町二）は「とても楽しかったです。三月に東京から来たばかりですが、この公園はすばらしいですね。今日はホオジロとウミネコを覚えました」と語ってくれました。

西海岸公園の中には、約百十種類以上の野鳥が生息しています。今の季節は、新緑も鮮やかで、野鳥たちの種類も多くなっています。皆さんもお出かけになりませんか。

「ほら！あそこにいた」27種類の野鳥が観察されました

ハルピンで交易会開催

―参加企業を募集―

第二回中国黒龍江省輸出商品交易会が中国ハルピン市において七月一日から十五日までの間開かれることになり、同交易会新潟推進会議（新潟市、新潟商工会議所、日本国際貿易促進日本海支局、新潟県日中友好協会）では、参加企業を募集します。

同交易会は黒龍江省側の輸出商品を中心とした商談会で、昨年の第一回は同省側で七十二億円の成約高をみました。

今回は、商談のほか、輸入に関する技術交流や、王化成ハルピン市長から提案のあった新潟市でのハルピン友好バザールの開催についても協議が行われる予定です。

同推進会議では、すでに地元のメーカー、貿易商社などに対し協力要請を積極的に進めています。

参加募集要綱は次のとおりです。

参加期間　六月二十九日～七月六日（八日間）　旅程＝新潟～成田～北京～ハルピン市～長春～成田～新潟

募集人数　二十人

参加費用　三十五万円（国内旅費を含む、全行程食事付）

申し込み・問い合わせ　五月二十五日までに市商業観光課（☎28―一〇〇〇、内線三三二）へ

特別土地保有税（保有分）の申告・納付は 5月31日までに

昭和四十四年一月一日以降に新潟市内に所在する土地を取得し、引き続き昭和五十七年一月一日現在で、五千平方メートル以上（ただし、市街化調整区域内の土地にあっては、保有期間が十年を超える場合は除かれます）所有している人は、五月三十一日までに特別土地保有税（保有分）の申告書を提出するとともに、その申告した税を納付しなければなりませんので、期日までに申告納付をして下さい。

なお、非課税土地に該当する場合と、徴収猶予を受けようとする場合は、あらかじめ届け出または申請をして下さい。

申告書、納付書等は、市資産税課に用意してあります。

善意の寄付

社会福祉のために
▼ユキ・サキの会▼生長の家新潟北越支部高校生連盟▼小西行也（関屋松波町二）▼小林嘉之（大阪府池田市）▼新潟調理専門学校A組一同▼加藤一樹（須賀）▼天明山不動堂先達桑野量心ほか同行者一同▼川崎甲英（鳥屋野）▼東京海上火災保険（株）新潟支店職員一同▼松村明（浦山二）▼沼垂校区婦人会▼渡部幸子（東青山一）▼読売新聞社▼市ラジオテレビ電気小売協同組合

交通遺児のために
▼島倉ノブ（山木戸四）▼嵩岡美雪（下所島）▼尾方保幸（小張木）

市勢あれこれ

救急活動

昭和五十五年中の市の救急車の出動件数は五千八百七十三件。これを一日当たりでみると十六件。救急車の保有台数は七台で、一台当たりの出動は八百三十九回▼搬送人員総数は五千七百二十二人。

中でも急病人の搬送が一番多く、二千二百七十七人。続いて交通事故被災者の千五百八十一人、一般負傷者の六百人、労災事故被災者の百七十八人の順。市民百人に対し一・三人が搬送されたことになります。

おもな目次

◈在宅ねたきり老人短期入所を全特養ホームで実施（二面）
◈早起き野球開会式～写真特集～（三面）
◈早起き野球ブロック別優勝予想（四面）
◈公民館講座案内（四面）

西地区婦人市政懇談会

―市政に婦人の声を―

日時　6月1日午後1時半～3時半
会場　西地区公民館ホール
※中野小屋、赤塚地区の参加者は、各地区婦人会役員へご連絡を

開公緑町マンション 分譲受け付け中

―現地見学会の案内―

日時　5月30日午前10時～午後4時
場所　緑町3437番地14（郷土資料館近く）
※現地へ直接おいで下さい。Fタイプは完売、Dタイプは残り1戸のみ
交通　バス：関屋大川前・入船町線、郷土資料館前バス停下車徒歩約1分
問い合わせ　市開発公社（☎23―2612）へ

「石山村報」（上）刊行

―新潟市合併町村の歴史基礎史料集1―

内容　第1号（大正12年7月）～第120号（昭和8年12月）
体裁　B5版オフセット印刷800ページ
価格　1冊1,900円（郵送希望のときは1冊につき送料540円必要）
取り扱い　合併町村史編集室（〒950 蒲原町7-1、東総合庁舎4階☎41―4111）または石山連絡所（〒950 石山1-1-12、☎86―4772）
※下巻（昭和56年3月刊、1,800円）も若干残っています。

新規就職者激励のつどい

日時　6月2日午後1時半～3時半
会場　県民会館大ホール
対象　今年、中学・高校を卒業して就職した方
申し込み　市労政課（☎28―1000）へ
〈事業主のみなさんへ〉
激励のつどいに、多数の方々が参加できますようご協力をお願いします。

動く市政教室参加者募集

～みどりと公園を訪ねて～

日時　5月27日午前9時20分までに、市役所中庭集合
コース　市役所～日本海タワー～西海岸公園～関分記念公園～園芸センター（昼食）～阿賀野川河川敷公園～市役所（午後2時40分到着）
定員　45人（先着順）
持参品　昼食、日本海タワー入場料150円
※公園内を散策するので軽装で
申し込み　電話で市民相談室（☎28―1000、内線238～240）へ。24日午前8時半から受け付けます。

昭和57年商業統計調査のお願い

商業統計調査(国)が6月1日現在で、全国いっせいに実施されます。

同調査は、商業振興対策等の基礎資料とするため、卸売業、小売業、飲食店を営むすべての事業所が対象になります。

5月20日ころから、統計調査員が対象事業所へ伺いますので、ご協力願います。

調査内容は統計法により秘密が固く守られます。

第43回市民健康教室

～老化の医学～

日時　5月28日午後1時半～3時
会場　中央公民館401号室
定員　50人（先着順）
講師　文田明仙先生（新潟市医師会）
申し込み　5月28日正午までに、電話で市衛生課（☎28―1000、内線583）へ